

# 令和4年 火災・救急・救助の概要

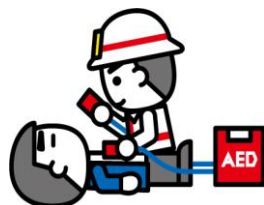
消防本部予防課予防G (☎ 0595-82-9492)

消防本部消防総務課消防救急G (☎ 0595-82-9496)

火災 24 件

救急 2,425 件

救助 24 件



## 1 火災の概要 【消防本部予防課予防グループ】

令和4年中の火災件数は24件で、前年に比べて5件増加しました。項目別では建物火災が11件と最も多く、前年に比べて7件増加しています。この建物火災11件のうち2件が住宅火災でした。

火災による死者の発生はありませんが、負傷者は9人発生しています。負傷者はいずれも建物火災で発生しており、9人という数は平成以降で最も多い負傷者数となっています。

項 目		令和3年	令和4年	前年比
火災件数	建物火災	4	11	+7
	林野火災	0	1	+1
	車両火災	6	6	±0
	その他火災	9	6	-3
	合 計	19	24	+5
死傷者	死者(人)	1	0	-1
	負傷者(人)	4	9	+5

※その他火災とは、建物、林野、車両に該当しない火災です。(例：空地の枯草や田畑の火災など)

## 2 救急の概要 【消防本部消防総務課消防救急グループ】

※各項目の令和4年の数値は、速報値となります。

### ・事故種別出動件数、搬送人員（表1）

令和4年中の出動件数は2,425件、搬送人員は2,289人で、前年と比べて出動件数は323件、搬送人員は313人増加しました。

1日の平均出動件数は6.6件で、平均搬送人員は6.3人となっています。

事故種別では、急病によるものが最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっています。

（表1）

事故種別		年 別	令和3年	令和4年	前年比
火 災	出動件数		6	10	+4
	搬送人員		3	5	+2
自然災害	出動件数		0	0	±0
	搬送人員		0	0	±0
水 難	出動件数		1	0	-1
	搬送人員		0	0	±0
交通事故	出動件数		190	170	-20
	搬送人員		189	173	-16
労働災害	出動件数		37	33	-4
	搬送人員		36	33	-3
運動競技	出動件数		1	2	+1
	搬送人員		1	2	+1
一般負傷	出動件数		384	397	+13
	搬送人員		365	382	+17
加 害	出動件数		9	3	-6
	搬送人員		7	3	-4
自損行為	出動件数		19	16	-3
	搬送人員		14	14	±0
急 病	出動件数		1,377	1,705	+328
	搬送人員		1,286	1,588	+302
その他	出動件数		78	89	+11
	搬送人員		75	89	+14
合 計	出動件数		2,102	2,425	+323
	搬送人員		1,976	2,289	+313

・被搬送者の傷病程度別比率（表 2）

令和 4 年中の被搬送者 2,289 人における傷病程度の比率は、軽症が 1,212 人で 52.9%、中等症が 883 人で 38.6%、重症が 141 人で 6.2%、死亡・その他が 53 人で 2.3%となっています。前年と比べて軽症の占める比率が 3.7 ポイント増加しました。

（表 2）

傷病程度		年 別	令和 3 年	令和 4 年
軽 症	搬送人員		972	1,212
	比 率		49.2%	52.9%
中等症	搬送人員		846	883
	比 率		42.8%	38.6%
重 症	搬送人員		111	141
	比 率		5.6%	6.2%
死亡・その他	搬送人員		47	53
	比 率		2.4%	2.3%
合 計	搬送人員		1,976	2,289

※ 軽 症：入院を必要としないもの

中等症：入院を必要とするもので、重症に至らないもの

重 症：三週間以上の入院加療を必要とするもの

死 亡：初診時において死亡が確認されたもの

その他：医師の診断がないものなど

・被搬送者の年齢区分別比率（表 3）

令和 4 年中の被搬送者における年齢区分別比率は、高齢者が 1,396 人で 61.0%、成人が 697 人で 30.5%、少年が 85 人で 3.7%、乳幼児が 111 人で 4.8%、新生児が 0 人で 0%となっています。

（表 3）

年齢区分		年 別	令和 3 年	令和 4 年
高齢者 65 歳以上の者	搬送人員		1,131	1,396
	比 率		57.2%	61.0%
成 人 18 歳以上 65 歳未満の者	搬送人員		660	697
	比 率		33.4%	30.5%
少 年 7 歳以上 18 歳未満の者	搬送人員		76	85
	比 率		3.9%	3.7%
乳幼児 生後 28 日以上 7 歳未満の者	搬送人員		109	111
	比 率		5.5%	4.8%
新生児 生後 28 日未満の者	搬送人員		0	0
	比 率		0%	0%
合 計	搬送人員		1,976	2,289

## ・医療機関への市別搬送比率（表 4）

令和 4 年中の市別医療機関における搬送比率は、市内医療機関への収容率が 32.9%で、市外医療機関への搬送が 67.1%となっています。

（表 4）

市 別		年 別		令和 3 年	令和 4 年
亀山市	搬送人員			728	754
	比 率			36.8%	32.9%
鈴鹿市	搬送人員			992	1,258
	比 率			50.2%	55.0%
津 市	搬送人員			105	117
	比 率			5.3%	5.1%
四日市市	搬送人員			127	147
	比 率			6.5%	6.4%
その他	搬送人員			24	13
	比 率			1.2%	0.6%
合 計	搬送人員			1,976	2,289

## ・現場到着・病院収容までの平均所要時間（表 5）

令和 4 年中の現場到着までの平均所要時間は、9.4 分で前年と比べて 0.3 分延伸しました。病院収容までの平均所要時間は、43.5 分で前年と比べて 1.1 分延伸しました。

（表 5）

所要時間	年 別		前年比
	令和 3 年	令和 4 年	
現場到着（分）	9.1	9.4	+0.3
病院収容（分）	42.4	43.5	+1.1

## ■救急車の適正利用と救急医療情報システムの利用

救急車の適正利用については、広報「かめやま」や救急講習会などを通じて、市民の理解と協力をお願いしていますが、依然として明らかに軽症と思われる方、タクシー代わりの出動要請など緊急性の低い事例がみられます。

救急車を呼ぶほどではないが、すぐに受診を希望される場合は、下記の「救急医療情報システム」を利用してください。

### 《救急医療情報システム》

パソコン **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

携帯電話 **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

自動案内 ☎0800-100-1199（通話料無料・ファックスでも受信可能）

医療情報センター（対人案内） ☎059-229-1199

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

※救急車を呼ぶべき症状について詳しくは、市消防本部のホームページをご覧ください。

（**URL** <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/index.html>）

### 3 救助の概要 【消防本部消防総務課消防救急グループ】

令和4年中の救助件数は32件で、前年に比べて8件減少しました。交通事故に伴う救助出動が最多となっています。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害に対して備えましょう。

救助の概要		令和3年	令和4年	前年比
事故種別件数	交通事故	16	13	-3
	水難事故	0	0	±0
	建物等による事故	5	6	+1
	風水害等 自然災害事故	0	0	±0
	機械による事故	0	1	+1
	その他の事故	11	4	-7
	合計	32	24	-8

※その他の事故とは、交通事故、水難事故などに該当しない事故です。

#### ■災害情報案内の利用

火災などの災害情報を自動音声案内や市消防本部ホームページ（軽易なものは除く）に掲載していますので、ご活用ください。

《自動音声案内》

☎82-9555

《市消防本部ホームページ》

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>